



①寒さも吹き飛ばす好取組をみせる子どもたち ②子どもの健やかな成長を願い行われる「赤ちゃん土俵入り」 ③餅つきをする力士たち

## 立神相撲

立神地区に伝わる正月の伝統行事「立神相撲」が1月3日、駒場公園相撲場で行われました。小・中学生や高校生、一般から約80人が出場し、公民館対抗による団体戦や青年大関を決める十六番勝負、つきたての紅白餅の振る舞いなどがありました。

各部門での優勝者・団体は次のとおりです(敬称略)。

【団体戦】小学生＝大塚A、高校生・一般＝大塚A

※中学生の団体戦はなし。

【小学生個人戦】1年＝松田<sup>れん</sup>生(田中・田畑)、2年＝築地<sup>れい</sup>久(塩屋)、3年＝園田<sup>きすけ</sup>喜助(大塚)、4年＝田上一郎(大塚)、5年＝庭月<sup>あきひ</sup>野敬太(大塚)、6年＝木原<sup>けん</sup>健心(下野原・牧園)

【中学生個人戦】天達<sup>あきひ</sup>朝日(大塚)

【十六番勝負】吉嶺<sup>けん</sup>賢洋(塩屋) ※「4代目早駒」を襲名



## カツオの初セリ

鯨節の原料となる冷凍カツオの初セリが1月4日の早朝、枕崎漁港で行われました。セリが始まると、会場では威勢のいいかけ声とともに、入札札が飛び交っていました。



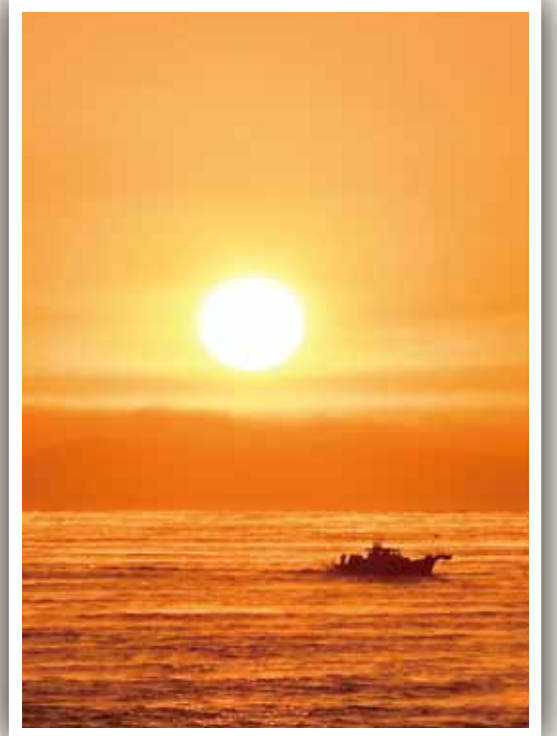
## 十日蛭子祭

1年の豊漁と航海の安全を祈願する十日蛭子祭が1月10日、台場公園にある蛭子神社で行われました。色とりどりの奉納旗が立つ中、多くの漁業関係者が出席し、賑やかな雰囲気の中で神事が行われました。

## 火の神太鼓保存会 初打ち会

火の神太鼓保存会による初打ち会が初日の出とともに行われました。この初打ち会は平成9年から行われており、毎年多くの観客が訪れる恒例行事になっています。

当日は、枕崎市観光協会によるぜんざいと茶節の振る舞いも行われました。



### 【火之神公園から望む初日の出】

今年は天候に恵まれ、令和初の初日の出が海や空を黄金色に染めました。火之神公園を訪れた観客は、太鼓の響きを感じながら、初日の出を拝んでいました。

# 新春行事

## 2020 Photo Snap



## ハマテゴ



転がるダイダイに矢を放ち、悪魔ばらいをすることで1年間の無病息災を願う子どもの正月行事「ハマテゴ」が1月2日、小江平公民館で行われました。<sup>かきり</sup>餅の着物を身にまとった子どもたちは、大人たちが手作りした竹製の弓矢を使い、転がるダイダイに狙いを定めて次々と矢を放ちました。

見事にダイダイを射止めた子どもは、ダイダイが刺さった矢を高々と掲げ、「テゴテゴ」と元気に勝どきを上げていました。